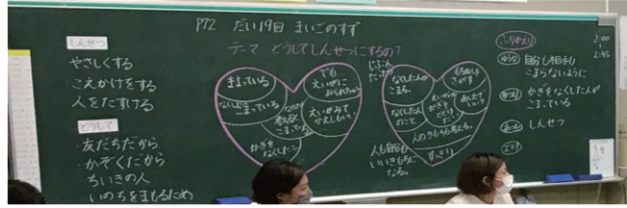


5

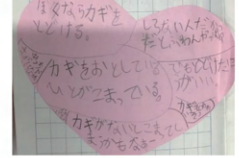
特別の教科 道徳：「B親切、思いやり」の流れと様子

①まいごのすず

どうして、親切にするの？

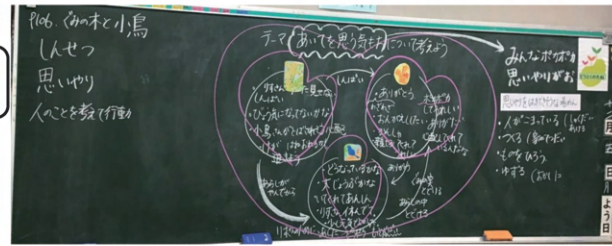


心情の読み取り

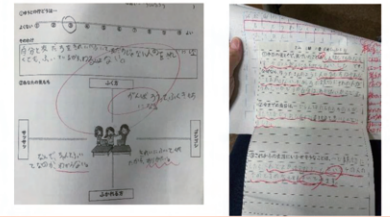


②ぐみの木と小鳥

相手を思う気持ちについて考えよう

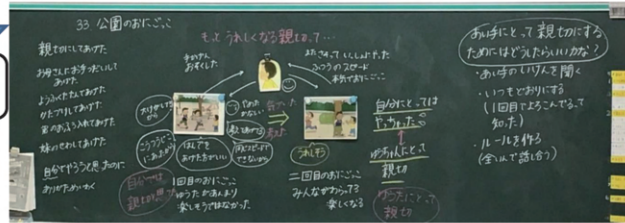


ワークシート・ふりかえり



③公園の鬼ごっこ

もっとうれしい親切って？

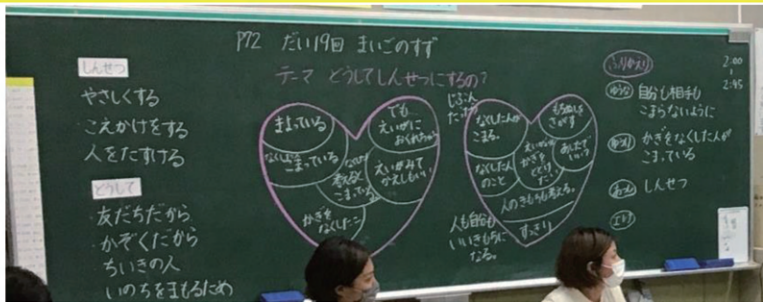


役割演技



6

特別の教科道徳：「まいごのすず」研究授業の様子



導入

展開

終末

親切ってなに？
・やさしい ・人を助ける

どうして親切にするの？
・ありがとうっていわれるから

テーマ「どうして親切にするの」

①登場人物の気持ちを確認する
(葛藤する気持ち)

②導入で出した考えと比較する。
(親切へのゆさぶりをかけていく)

③親切にすることの意味について考える。

振り返り

・人のためになるし、自分のためにもなる。

・自分が届けたら相手も嬉しい。

・自分も相手もポカポカ

・困っている人をほっておけない

7

その他の取り組み



あの人に あいたいな



表現方法



8

成果

〈児童の姿〉

○各教科で伝え合う場、認め合う場、共有する場を取り入れることにより、自分と異なる考えも受け止めようとする児童が増えてきた。

〈授業作り〉

○同じ内容項目【親切・思いやり】を学年で教材研究し、授業参観することで、子どもたちの実態に合わせた授業作りをすることができた。

○授業のテーマを、段階的に深めていくことで、個々の道徳性の高まりを感じることができた。

〈研究主題〉

○学校案内や町探検、あの人に会いたいなど地域の人や友達と関わりながら、学校や地域にある施設や自然を身近に感じることができた。

○授業で学んだことに関心を持ち、さらに発展的に学ぶ姿が見られた。

課題

〈児童の姿〉

●頭の中では、理解しているが実践することができない場面が見られた。

→生きた知識になるように、日々の成果を教師が価値づけていく。

〈授業作り〉

●振り返りを書く際に、手が止まってしまう児童がいた。

→振り返りの視点を与えたり、口頭で気持ちを聞き取ったりして、児童に合った支援をしていく。

〈研究主題〉

●伝え合う場が、学級、学年にとどまった。

→伝えたり、発信する場の設定を計画的に行う必要がある。